

第6次白老町総合計画(素案)に対する

パブリックコメントの結果について

1 意見募集の概要

意見募集期間	令和2年1月31日(金)～2月29日(土)
閲覧場所	(1) 役場企画課・町民課窓口、各出張所、町立図書館 白老町コミュニティセンター、いきいき4・6 (2) 町ホームページ
意見の提出方法	持参、郵送、FAX、電子メール
意見の提出先	白老町役場企画課
意見提出者数	6名
意見提出件数	31件

《回答分類別》

回答分類	説明	件数
①素案に記載済の内容	いただいた意見の内容は既に素案に盛り込まれている	9件
②素案を修正する	いただいた意見をもとに素案を修正する	7件
③今後の参考・検討とする	素案は修正しないが、いただいた意見は今後の参考(検討)にする	3件
④その他	意見、感想として受け止める	12件

第6次白老町総合計画（素案） パブリックコメントとりまとめ

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
1	基本計画	地域活動 (P100-101)	<p>第6次総合計画の重点課題として、「人口減少・少子高齢化の進行」を抑制し、さらに地域経済の活性化を図るものととらえております。そのために町民から様々な意見を取り入れ（アンケート調査・ヒアリング等）、この難しい問題に対しプロジェクトを立ち上げています。計画全てを実行することは難しいとは思いますが、未来の白老町が心豊かで住みよい町になるための施策が示されていると思います。</p> <p>ただ、行政側だけの力では限界があります。各町内会、あるいは町内会同士が主体的な行動を取ることで計画の実現が可能になるのではないのでしょうか。例えば店舗がなければ、自分たちで出資し空き店舗を活用して共同店を持つこともできるし、登別市では町内会の代表者（役員）がNPOの理事になり、地域食堂の運営をメインとして配食事業や土曜朝市などを行っています。</p> <p>アイデアがあれば、各町内会同士でできること・やれることを話し合い実行することで、より良い白老町づくりができるのではないのでしょうか。その中で疑問に思ったり壁になることがあれば、集落支援員や議員、あるいは行政に相談すればよいのです。</p> <p>白老町で生まれ育った方々に白老町を誇りに思ってもらいたいし、抱える様々な問題や課題も明日のためにみんなで力を合わせれば、きっと暮らしてみたいと思える「ふるさと」になると信じています。</p>	<p>第6次総合計画では人口減少抑制・地域経済活性化の2つの柱を重点施策に掲げ、まちの将来像の実現に向けて取り組むこととしております。</p> <p>まちの将来像である「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」からも、みんなで知恵を出し合い、力を合わせて築くことで、希望の未来が生まれ出されるものと信じております。</p> <p>ご指摘のとおり、将来にわたりまちを持続的に発展させていくためには、人と人とのつながりを大切にしながら、みんなで協力し、共にまちを創り上げていくことが大切であると認識しております。</p>	④
2	基本計画	学校教育 (P72-73)	<p>私は竹浦に住んでから53年になります。年々住みづらくなり高齢者がどんどん増えてきています。</p> <p>私の町内会も高齢化率は50%を超えていると思います。小中学生はそれぞれ5人以下、幼児は昨年一人生まれました。</p> <p>保育所はない中学校もない、かろうじて小学校があるが現在29人の生徒数で全学年複式です。</p> <p>いつまでこの状態を維持出来るのか。数年もたてばいろいろな理由をつけて統合になるのでは</p>	<p>学校規模の適正化は、教育的な観点に基づき、教育の質の充実と子どもたちの教育環境の向上を目的として実施するものであります。</p> <p>一方、学校は地域コミュニティの核としての役割も担っていることから、統廃合の検討には慎重な議論が必要です。</p> <p>現在、学校の統廃合について審議しておりませんが、今後の社会情勢の変化や教育制度の変更等を踏まえながら、地域の皆様方とともに議論を重ねていきたいと考えております。</p>	④

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
3	基本計画	行財政運営 (P104-105)	竹浦小学校が旧竹浦中学校へ移転されてから数年経ちます。放置されたままです。この状態はいつまで続くのでしょうか。 校庭は草ぼうぼうです。旧体育館は倒壊寸前です。 今後どのような計画があるのか住民に説明して下さい。	公共施設の跡地利用については、将来のまちづくりや政策課題への対応を基本に、地域住民の意向を尊重しながら、有効活用の検討を進め、町民全体の利益と地域の活性化につなげていくことが重要であると捉えております。 本意見を受けて、基本事業5-3-4「公共施設の適正化」の中に、町有財産の利活用の視点を追記させていただきます。	②
4	基本計画	公共交通 (P48-49)	竹浦に商店はコンビニが一軒あるだけ、車を運転して他に買い物に行ける人は良いが、車が運転出来なくなったらどうすれば良いのかいろいろ考えている。 昨年までスーパーくまがいの買い物バスが来てくれていて利用する人もあり大変好評でしたが12月に止めてしまいました。聞くところによると車の維持費が大変とのこと。このような実態を行政はどう考えているのか。住民が困るのであれば補助金を出す位の配慮があっても良いのではと思うがそのような話は何も聞こえてこないのは行政とは何ぞやと思う。	高齢化が進行していく中で、日常生活における移動手段の確保は、重要な課題であると認識しております。 生活の足を確保するため、元気号のダイヤ・経路の見直し、デマンド交通の拡充等に取り組みながら、利便性の高い公共交通体系の構築に努めてまいります。	①
5	基本計画	住環境 (P46-47)	白老に住んで居る人はスーパーもあり生協もあるので地方に住んでいる人の不便を余り感じないでしょう。 このような状況を解決しようとする計画が第6次総合計画には何も示されていない。	総合計画は、各地区の垣根を設けず、全町が一体となってまちづくりを進めるという視点で策定しておりますのでご理解願います。	④
6	基本計画	道路 (P50-51)	飛生橋は橋の幅が狭く現在片側交互通行となっています。 飛生地区は白老では数少ない採石、産業廃棄物処分場、白老牛、豚、鶏、椎茸等がある大生産基地です。 町税収入は相当な金額と思われる。もし橋が通行不能となった場合大変大きな損失と思われる。 本来であれば相当以前に新しい橋が出来ているべきです。 聞くところによりますとトラックが年々大型化され総重量50トンを超えるトラックが通過することもあるそうです。 橋が建設されて相当の年数が経過していると思います。 第6次総合計画に一番先に入れて架け替えをお願いします。	公共インフラの老朽化の解消や更新等に要する財政負担が大きな課題となっております。 長寿命化計画に基づき計画的な維持管理を進め、安全で快適な道路環境の確保に努めてまいります。	①

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
7	基本計画	道路 (P50-51)	竹浦跨線橋は約40年経ちます。外観を見ると鉄骨は錆の発生がひどい所が見受けられます。塗装をお願い致します。	公共インフラの老朽化の解消や更新等に要する財政負担が大きな課題となっております。 計画的な点検に基づき維持管理を進め、安全で快適な道路環境の確保に努めてまいります。	①
8	基本計画	道路 (P50-51)	竹浦2番通りは凸凹がひどく特に冬になると凍結による盛り上がりで車の腹をこする事もあります。又JR側の側溝は狭くなり用をなしていません。全面的な補修が必要です。	公共インフラの老朽化の解消や更新等に要する財政負担が大きな課題となっております。 緊急性を加味しながら計画的に改修等を進め、安全で快適な道路環境の確保に努めてまいります。	①
9	基本計画	芸術文化 (P76-77)	竹浦コミセンの陶芸室の窯は不良になってから10年近くなりますがいつまで経っても直してくれません。現在会員たちは高齢者大学の窯を使わせてもらっているそうです。もしこの窯が不良になり使えなくなったら活動ができなくなります。 是非新しい窯に交換するようお願いします。	心豊かで潤いのある町民生活を実現するためには、芸術文化を身近に親しむことができる環境づくりが重要です。町民の活動意欲に応えられるような支援を充実させ、文化活動の更なる活性化に努めてまいります。	①
10	基本構想	まちづくりの 基本目標 (P18)	全体的に良いと思います。「将来像」の共生、共創の実現の所は、多文化共生以外にも多く考えられ、共生だけでは価値観が深く広すぎます。まず共生の部分、疑問です。	「共生共創」の共生とは、本町の多文化共生の理念を継承したもので、「多様性」と「包摂性」を兼ね備えたこれまでの考え方を包含したものです。	④
11	総論	計画の 構成と期間 (P3)	限られた財政の中で各課、各部署でいかに連携し具体化が見えない。又、広く浅く進めるか、細く深く進めるか優先順位が知りたいです。	総合計画の基本構想と基本計画は、まちづくりの方向性や指針をまとめたもので、骨格的で抽象的なつくりとなります。 具体的な事務事業については、次年度作成する実施計画で示す予定です。また、総合計画は計画の性質上、総花的になります。しかし、重点事項や優先順位を明確にするため、重点プロジェクトを設定し、分野横断的に取り組むこととしております。	④

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
12	その他	周知のあり方	町民説明会の参加者が少ない。PRの方法を考えた方が良くはないでしょうか…（セミナー、シンポジウム、未来創りプロジェクト、講演会）などの方が参加者が多かった。	町民説明会の周知についてですが、町内会の班回覧、各種団体等への開催案内通知、ホームページの掲載、報道への情報提供など、様々取り組んでまいりました。しかしながら、参加者が少なかったことは、本町としても反省しております。 今後は、説明会の開催時期や時間帯、周知手法等について、研究・検討し、多くの町民が参加いただけるような機会創出に努めてまいります。	③
13	基本構想	将来目標人口 (P17)	目標人口は高くても良いと思いますが、日本全体が人口減少しているので人口減を見込んだまちづくりが必要だと思います。	人口減少・少子高齢化は全国共通の課題であり、本町においても同様です。日本全体の出生数が90万人を割り込む中、短期的に人口を増やすことは困難です。こうした状況の中、第6次総合計画においては、人口減少下においても将来にわたり、町民が心豊かに暮らすことができる、持続可能なまちの実現を策定方針として、計画づくりを進めてまいりました。	④
14	基本計画	観光 (P92-93)	旧社台小学校の活用、外観地の利を生かしてほしい。 バブル時代は80万人以上の観光客がポロトコタンに来場しましたが、そのほとんどが会館を通りコタンを見学後は次の目的地に移動しました。滞在時間は1～2時間です。 旧社台小学校を活用し、新しいスポットを作り、ウポポイから社台～虎杖浜ナチュの森まで人の流れを作り巡回する様な町作りを期待します。 願望として環境に前向きな企業の誘致し商品の研究開発をし展示、見学ができれば、又、社台の地の利を生かし、馬と人間の関わり、歴史を展示したり、馬の仕事に関わる企業、団体法人等の誘致。	町内全体を活性化させるためには、ウポポイの観光客をまちの隅々まで浸透させる必要があります。そのためにも、点在する地域資源を線で結び、周遊性を高めるための施策を展開しながら、魅力ある観光地の形成に努めてまいります。	①
15	基本計画	地域活動 (P100-101)	若い人達の活力、発信力を生かした企画。 例えば若い人達のバスツアーを企画し、白老町の食、文化、観光などのスポット等を再発見したり、体験してもらい、未来創りプロジェクトの若い人達のバックアップ、活用補助金の見直し、町が例年補助している祭り、イベント、町内会補助金、例年通り、数年、数十年続けて居る補助金が目的に合っているかを検証も必要だと思います。	町民との協働を進めていくためには、まちづくりに参加しやすい環境づくりが必要です。その第一歩として、対話による町民参加・若手参加の促進が重要であると捉えております。対話を通じたコミュニティづくりに努め、一体感が感じられるまちを目指してまいります。	①

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
16	基本計画	行財政運営 (P104-105)	令和元年6月町民意識調査報告書、9月アンケート調査などを町職員がどの様に受け止め理解するかが、第6次計画を左右すると思います。 職員の働き方改革も必要ですが、意識改革がもっと必要だと思います。職員の行動、雰囲気、空気が町民に伝わると思います。	町民意識調査や各種アンケート調査での皆様の声は、職員の中でも共有し、第6次総合計画の様々な基本施策に反映させております。ご指摘のとおり、町民の行政サービスに対するニーズに、的確に対応していくためには、職員の意識改革をはじめ資質の向上が必要です。効率的・効果的な行政運営を実現するためにも、継続した人材育成に努めてまいります。	①
17	基本計画	重点プロジェクトの概要 (P25)	「人口減少抑制プロジェクト」等に見る限り、前向きかつ意欲が感じられないのは残念。特に「将来目標人口」が低ければ実現可能性が高いが同時に現状維持的な消極的な目標になり、思い切った施策を講じる必要性がなくなる。	重点プロジェクトは、白老町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの将来推計人口と町民参加プロセスから寄せられた多くの方々声をもとに導き出したものです。積極的な人口減少抑制策等の展開により、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めてまいります。	④
18	その他	目次	町民に意見を求める資料としては、確定前でも目次が必要。	ご指摘のとおり、次回以降、目次も含めてパブリックコメントを実施いたします。	③
19	総論	公共施設の 築年別延べ床面積 グラフ (P11)	町民に配布する資料は複写でも差支えないが、町民が素案を理解するに足る配慮が必要。例えば、11頁「公共施設の築年別延べ床面積」には15種類の施設に分類しているが、グラフの理解は困難。	公共施設の築年別延べ床面積のグラフは、年代別の総床面積を町民の皆様にお示しするために掲載したものであります。施設別の分類もあわせて示したことでグラフの意図が伝わりづらくなっていることから、分かりやすいグラフに修正いたします。	②
20	その他	町民説明会 の開催回数	町民参加のプロセスが大切であるが、素案についての地域別町民説明会が僅か3か所とは余りにも少なく、各種諸団体での説明会を開催しているとはいえ町民の生の声を反映したいのなら少なくとも8地区（注）は実施すべきであった。次回以降の総合計画検討のご参考にして頂きたい。 （注）社台、白老鉄南、白老鉄北、石山、萩野、北吉原、竹浦、虎杖浜の8地区。	町民説明会のあり方については、次回以降の検討課題として捉えております。	③
21	総論	計画の 構成と期間 (P3)	3頁 3 (1) 計画の構成■実施計画 (3年) については、4頁「(2) 計画の期間」において「毎年度見直し」となっているので、整合性を図るため「ローリング方式」の前に文言「1年ごとの」を入れたほうが良い。ただし、1年ごとの見直しが煩瑣であれば、3年ごとでもよいのでは。この場合には、文言「1年ごとの」を入れる必要はない。	ご指摘のとおり、「3ヶ年度を計画期間とした毎年度見直しのローリング方式」と改めさせていただきます。	②

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
22	総論	計画の進行管理 (P4~5)	4~5頁 本文及び表中に「事業（レベル）、事務事業、施策・事務、事務（目標）」の通り整合性を欠くので、事務事業に統一してはどうか。	政策とは町が目指すべき方向性を示すもので、施策とは政策を実現するための方策、事務事業とは施策を実現させるための具体的な手段を示します。この概念に基づき用語を使い分けているため、文中及び表中のとおりになっております。	④
23	総論	まちを取り巻く状況・SDGsの推進 (P7)	7頁 ⑥SDGs（持続可能な開発目標）の「17の目標と169のターゲット」については、少なくとも17の目標については『「貧困をなくそう」「質の高い教育をみんなに」など』と例示したほうが分かり易い。	ご指摘のとおり、例示を追加いたします。	②
24	総論	まちの概要 (P8)	8頁 第2章(2)①「まちの概要」については、最後から6行については、もう少し強調してもいいのでは。例えば、「2020年4月24日には、…（本文と同じにつき略）…ウポポイ（民族共生象徴空間）には北日本初の国立博物館がある。アイヌ民族の歴史や文化を紹介する国立アイヌ民族博物館はじめ体験交流ホール、慰霊行事施設や民族共生の思いが込められた高さ27メートルのモニュメント等がポロト湖畔に開設します。…（以下本文と同じ）…」	まちの概要については、本町の歴史や文化をはじめ、立地・自然条件や産業構造等、全般的な記述としておりますのでご理解願います。また、ウポポイのPRについては、広報誌やホームページ等を通して随時発信しております。	④
25	総論	地区別人口の表 (P9)	9頁 「②人口・世帯の状況」の図表については、全体に薄く見にくい。特に「■白老町の人口動態」は分かりにくい。また、「■地区別人口のH22-H31対比」については、森野地区は白老地区に含め、その旨欄外に注記すればよい。	冊子として製本する際、図表の生データを使うため、グラフ等については鮮明に印刷されます。また、地区別人口については、住民基本台帳の大字区分に基づき掲載しております。	④
26	総論	財政の状況 (P11)	11頁 「④財政の状況」については、過去の財政悪化に触れていないのは遺憾。また“…（略）…本町の財政状況は一層厳しくなるものと予測されます”とうたっているが、その場合の財政運営は如何にあるべきかについて触れて欲しかった。	ご指摘のとおり、「財政の状況」の文中に過去の財政悪化の記述を追記します。また、「財政運営は如何にあるべきか」についての記述は、基本事業5-3-3「健全な財政運営」でお示ししております。	②
27	基本構想	将来目標人口 (P17)	17頁 「(2)将来目標人口」については上記I. 1に触れた通りであるが、目標が“目的を達成するために設けた、めあて”である以上、目標人口は14千人にして人口減少に立ち向かう気力を示して欲しい。	総合計画と総合戦略との整合性を図るため、将来目標人口は、白老町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの将来推計値をもとに算出しております。	④
28	基本計画	重点プロジェクトの概要 (P25)	26頁 「人口減少抑制プロジェクト」のプロジェクト指標は前項通り14千人。	総合計画と総合戦略との整合性を図るため、将来目標人口は、白老町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの将来推計値をもとに算出しております。	④

No.	該当計画	該当箇所	意見	町の考え方	回答分類
29	基本計画	基本計画の体系図 (P31)	31頁 「基本方針1~5」は左から右へ並べたほうが見易い。	ご指摘のとおり、基本方針の並びを左から右に修正いたします。	②
30	基本計画	地域医療 (P60-61)	61頁 「三連携」(保健、医療、福祉の連携)については、用語解説に追加したほうが良い。	ご指摘のとおり、基本事業2-2-3「地域医療体制の充実」の「三連携」の後に注釈として「(保健・福祉・医療の連携)」を追記します。	②
31	基本計画	芸術文化 (P76-77)	81頁 「民族文化、基本事業」の事業：3-5-4として“屋根のない博物館通りの再生復活”を追加要望。これが忘れ去られようとしている。国立博物館が誕生したこの機会に、この再生復活を是非実現して頂きたい。この通りは既に資源として残っているものも多くあり費用も余りかからないもの。	「屋根のない博物館通り」の活用についてであります。基本事業3-3-2「史跡・文化財の保全と活用」内で記述される博物館活動の中で取り組んでおります。	①